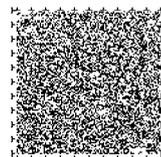


令和3年度

ふくおか
共助社会づくり
表彰

NPO・ボランティアと
多様な主体が
知恵や力を持ち寄った
取組を紹介



はじめに

福岡県では、NPO・ボランティアや企業、行政などが共に知恵や力を出し合い、支え合う「共助社会」の実現に向け、さまざまな取り組みを行っています。

「ふくおか共助社会づくり表彰」は、こうした共助社会づくりの推進を目指し、NPO・ボランティアと企業・団体との先駆的な協働の取り組みや、他の模範となる地域貢献活動を表彰するものです。

今年度は、有識者による選考の結果、3件の取り組みを表彰する運びとなりました。

音楽による賑わい創出、生活困窮家庭への食料支援、高校生による子ども食堂運営のいずれの取り組みも、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動の場や手法が制限される中、NPO・ボランティアと企業、行政などが、



令和4年2月

福岡県知事

服部 誠太郎

それぞれの知見やノウハウを最大限活かすことで継続的かつ効果的に実施されています。

受賞を機に、これらの取り組みが、より多くの市民の参加を巻き込みながらさらに広がるとともに、NPO・ボランティアの社会的信頼性を高め、協働に対する理解の促進、ひいては、これからの本県の共助社会づくりに寄与することを大いに期待しています。

受賞取組・団体一覧 (3件14団体)

音楽交流で賑わいを創出し、子供達の夢を応援しよう! 3

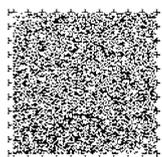
KANIKAPILA Music Club / 特定非営利活動法人くろめ日曜市の会 / 一般社団法人We Love久留米協議会 / 公益財団法人久留米文化振興会 / 久留米市

フードパントリーを通じた支え愛プロジェクト 4

特定非営利活動法人チャイルドケアセンター / 筑紫女学園大学LYKKE / エフコープ生活協同組合 / ふくおか筑紫フードバンク運営委員会 / 西松建設株式会社 九州支社

高校生が造る「子ども食堂」(子どもの孤食解消をめざして) 5

NPO法人Eating Love Circle / 特定非営利活動法人チャイルドケアセンター / 福岡県立福岡農業高等学校 / 太宰府市立太宰府西小学校 / 筑紫野市立天拝小学校



ふくおか共助社会づくり表彰について

◆ 表彰の趣旨

この表彰は、NPO・ボランティアと企業、行政などによる優れた他の模範となる協働の取り組みを表彰し、NPO・ボランティア、企業その他団体の公益的活動を促進するとともに、NPO・ボランティアの社会的な信頼性を高め、本県の共助社会づくりに資することを目的に行っています。

◆ 対象となる取り組み

表彰の対象となる取り組みは、NPO・ボランティアが、企業、行政その他団体と、地域の課題を解決するため、互いの特性を生かしながら、協力して行う協働の取り組みです。

NPO・ボランティア団体には、NPO法人及びボランティア団体の他、公益社団法人・公益財団法人、一般社団法人・一般財団法人が該当します。

◆ 表彰する取り組みの決定

応募があった取り組みの中から、外部有識者を中心に構成する「ふくおか共助社会づくり表彰選考委員会」の選考を経て決定します。

【審査基準】

1 協働の効果

各団体が明確な役割分担のもと、それぞれの特性を生かすことで相乗効果が生み出されているか

2 社会貢献性

現状・課題の把握や解決に向けた手法が的確で、地域や社会に公益性の高い成果が生み出されているか

3 創意性

専門的な知識や地域の特性を生かすなど、創意工夫のある取り組みであるか

4 継続性・発展性

取り組みの継続や他への波及効果など、今後の広がりが期待できる取り組みであるか

5 特記事項

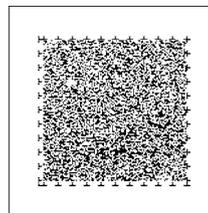
中長期にわたる活動実績など特筆すべき優れた点(加点要素)があるか

◆ 表彰の募集

募集期間は、例年4月頃から開始しており、次回表彰の募集については、詳細が決まり次第、福岡県NPO・ボランティアセンターのHP等でご案内する予定です。

なお、表彰された取り組みは、県のHPや各種広報媒体を通じ、広く県民の皆様を紹介します。

自薦、他薦を問わず受け付けておりますので、皆様奮ってご応募ください。



音楽交流で賑わいを創出し、子供達の夢を応援しよう！

久留米市において、音楽を通じてまちの賑わいを創出するため、市内のNPO等や行政が協働して様々な取り組みを行っている。

平成28年度から実施するくるめジュニア音楽祭では、全国から公募したアマチュアミュージシャンによるコンテストを開催。毎年審査員にプロの音楽プロデューサーやミュージシャンを招き、ジュニアアーティストの夢を後押しするイベントとなっている。なおコロナ禍を受け、令和2年は、動画配信サイトにて本選大会のライブ配信を実施した。

そのほか、地元商店街で毎月開催されている「くるめ日曜日」にて、市民が気軽に楽器演奏や歌を披露する路上音楽祭の実施や、久留米市の音楽事業「くるおん」とも連携しワークショップを開催するなど、音楽のまちとしての交流と賑わいを創出している。

活動内容やスタッフの年齢層が異なる団体が協働することで、子どもたちの音楽活動の支援にもつながっている。



買い物客で賑わう「くるめ日曜日」では路上ライブステージを設け、学生から大人まで楽しめる発表の場を運営



久留米市の音楽事業「くるおん」でのウクレレワークショップの様子



「くるめジュニア音楽祭」は、毎年全国からジュニアアーティストが多数エントリー

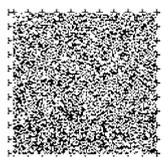
属性	団体名	役割
NPO	KANIKAPILA Music Club	企画・運営
	特定非営利活動法人くるめ日曜市の会	くるめ日曜市の主催、くるめジュニア音楽祭共催
団体	一般社団法人We Love久留米協議会	商店街・駅周辺ビル等でのポスター掲示、チラシ配布、会場運営
	公益財団法人久留米文化振興会	「くるおん」主催、企画助言、広報
行政	久留米市	広報、資金助成

読者へのメッセージ

KANIKAPILAとはハワイ語で「音楽を楽しもう!」という意味。私たちは、生の音楽は世代を超えた繋がりを生み、まちを明るくできると考え、NPOや自治体と連携しながら活動を続けてきました。これからも多様化する状況に「音楽」の魅力と可能性を投げかけていきたいと思ひます。

KANIKAPILA
Music Club
代表

大淵 勝敏 さん




お問い合わせ先

KANIKAPILA Music Club (カニカピラミュージッククラブ)
〒830-0031 久留米市六ツ門町3-11 くるめりあ六ツ門6階
久留米市市民活動サポートセンター みんなる内
TEL:090-9606-0992 URL:<https://www.facebook.com/kanikapilamusicclub/>

フードパントリーを通じた支え愛プロジェクト

コロナ禍による臨時休校や子ども食堂の活動停止を受け、経済的困窮世帯における食費負担の増加や、交流機会の減少による精神的孤立等、様々な問題が顕在化している。

そこで、悩みを抱える世帯や子どもたちを地域ぐるみで支えるため、筑紫地域において、NPOが団体や企業等と協働し、生活困窮家庭等に直接食品を配付するフードパントリー事業を実施している。

令和2年3月から1年間で、27tにも及ぶ食品を、延べ17,000を超える世帯と母子生活支援施設に届けるとともに、訪問を通じた声かけや見守りを実施。各地域の子ども食堂運営団体を通じて、民生委員や地域の方々の協力を得ることで、普段子ども食堂に足を運ばないような家庭にも支援を届けている。また、コロナ禍に伴う臨時休校による学校給食の中止や飲食店の営業時間短縮、休業などで余剰となった食品を有効活用することで、食品ロスの削減にもつながっている。



コロナ禍の中で対面での食事は難しく、パントリーという形で食品を配付



寄贈された食品はエフコープに集められ、子ども食堂ごとに仕分け



子ども食堂の運営者が自分たちの車で直接受け取りに

属性	団体名	役割
NPO	特定非営利活動法人チャイルドケアセンター	全体事務局、食品寄贈企業などの開拓・窓口、スタッフ派遣
団体	筑紫女学園大学LYKKE	スタッフ派遣、母子生活支援施設などへの食材配付
	エフコープ生活協同組合	食品寄贈企業などの開拓・窓口、食品の輸送・荷役、場所提供、スタッフ派遣
企業	ふくおか筑紫フードバンク運営委員会	食品寄贈企業などの開拓・窓口、スタッフ派遣、子ども食堂の運営グループ窓口
	西松建設株式会社 九州支社	食品の管理・分配のための場所提供、スタッフ派遣

読者へのメッセージ

多くの協働団体の皆さまと一緒に、生活に困窮する世帯や子ども達のために行動することは私たちにとって大きな喜びです。これからもその想いを形に表していきたいと思えます。

特定非営利活動法人
チャイルドケアセンター
代表理事

大谷 清美さん



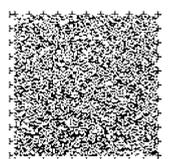
お問い合わせ先

特定非営利活動法人 チャイルドケアセンター

〒816-0943 大野城市白木原1丁目14番22号

TEL:092-502-8822

URL: <http://npo-ccc.net/>



高校生が造る「子ども食堂」(子どもの孤食解消をめざして)

近年、子どもが家族不在の食卓で一人で食事をするなど、孤食問題が注目されている。

そこで、福岡県立福岡農業高等学校食品科学科の生徒によって構成され、地域の食育推進を目的に活動するNPO法人Eating Love Circleが中心となり、地域のNPO、学校と協働して、子ども食堂を実施している。

「子どもと一緒に作る子ども食堂」をテーマとし、食事を提供するだけでなく、高校生と参加する小学生たちが一緒に調理を行っている。子どもと一緒に食事を作れるようなメニューを考案し、各家庭や子ども同士でも作って食べられるよう、レシピを参加者全員に配布しているほか、食事提供の合間に、小学生たちに食に関する話をする中で、食育推進にも取り組んでいる。

コロナ禍においては、フードパントリー事業も実施しており、小学生の各家庭にフードバンクから提供を受けた食材配布を行っている。今後は農業高校の圃場を活用し、親子で食材の栽培から収穫、調理までを体験できるよう、子ども食堂の深化を目指す。



12月18日開催の子ども食堂の様子



5月18日太宰府西小学校6年生へのフードパントリー活動



12月16日天拝小学校5・6年生へのフードパントリー活動

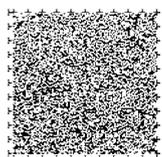
属性	団体名	役割
NPO	NPO法人Eating Love Circle	子ども食堂・フードパントリーの企画・運営
	特定非営利活動法人チャイルドケアセンター	食材及び子ども食堂の運営ノウハウの提供
学校	福岡県立福岡農業高等学校	会場、設備備品の提供
	太宰府市立太宰府西小学校	参加者募集・集計、フードパントリー会場の提供
	筑紫野市立天拝小学校	参加者募集・集計、フードパントリー会場の提供

読者へのメッセージ

地域の小学校と連携し、孤食解消のための子ども食堂を3年前から実施しています。今年度は、チャイルドケアセンターと連携し、食の大切さを伝えながら、子ども食堂開催の呼びかけも行うことができました。

NPO法人
Eating Love Circle
理事長

小森 千穂さん



お問い合わせ先

NPO法人 Eating Love Circle

〒818-0134 太宰府市大佐野250 (福岡農業高等学校内)

TEL:092-924-5031

URL: <http://fukuoka-agr.fku.ed.jp/Default2.aspx>

選考委員の皆さんにお話を伺いました。

- 林田 スマ 委員長:公益財団法人大野城まどかぴあ館長
- 森田 昌嗣 委員:九州大学 名誉教授
- 鳥丸 聡 委員 :シンクタンク・バードウィング 代表/
長崎県立大学地域創造学部 教授
- 藤本 玲 委員:福岡経済同友会 事務局次長
- 本田 航二 委員:福岡県人づくり・県民生活部
副理事兼社会活動推進課長

今年度の受賞取組について



鳥丸委員

音楽交流で賑わいを創出し、子供達の夢を応援しよう!

久留米と聞けば、ゴム産業の集積地、医師のまち、絨産地、豚骨ラーメン発祥の地等々、多様な姿を連想しますが、鮎川誠さんや松田聖子さん、そしてチェッカーズ等々、現代日本の音楽シーンに大きな影響を与えた「音楽人材の一大産地」である

ことは極めて特徴的です。その久留米でジュニア音楽祭や路上音楽祭を継続的に実施する取り組みにより、音楽人材の産地づくりに一層の拍車がかかるのではないかと期待が高まります。



森田委員

フードパントリーを通じた支え愛プロジェクト

コロナ禍により子ども食堂ができなくなったことで活動を休止するのではなく、新たな活動に取り組むための課題を再発見し、多様な団体との協働による地域ぐるみで支えるフードパントリー事業により、多くの困窮家庭への支援が実現している

ことが高く評価されました。さらに、困窮家庭への食料配布の際には、気になる家庭の様子を市と共有するなど、行政と連携することによる持続可能な社会づくりに貢献されたことが特筆されます。



藤本委員

高校生が造る「子ども食堂」(子どもの孤食解消を目指して)

我が国が直面する喫緊の課題の1つである子どもの貧困問題に高校生が着目し、ノウハウを持つNPO団体の協力により取り組みが実現されています。

この取り組みでは、単なる食事の提供に留まらず、参加者である子どもたちが一緒

に活動しており、孤食の解消はもちろん食育にも貢献しています。子どもたちへの食事の提供の場である子ども食堂は、地域のコミュニティの場に変化しつつあると感じました。取り組みの更なる発展に期待します。

コロナ禍における協働の取り組みについて



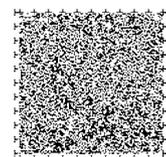
林田委員長

今、私たちはかつて体験したことのないパンデミックの中にいます。そして、様々な面での格差の広がりという課題に直面しました。こんな時こそ、協働の取り組みの出番です。

今回、コロナ禍における困窮者支援や、

オンラインを活用した取り組みなど、新しいカタチでのつながりが繰り返し広がられました。

厳しい時だからこそ必要な共助、改めて協働の取り組みの温もりに感動しました。





お問い合わせ / アクセス

福岡県 NPO・ボランティアセンター

- 住 所** 〒812-0046
福岡市博多区吉塚本町 13 番 50 号 福岡県吉塚合同庁舎 5F
- 連絡先** TEL 092-631-4411 FAX 092-631-4413
Mail nvc@pref.fukuoka.lg.jp
- アクセス** ① JR「吉塚」駅より徒歩約 3 分
② 西鉄バス「吉塚駅前」バス停より徒歩約 3 分
③ 福岡市営地下鉄「馬出九大病院前」より徒歩約 10 分
- ホームページ** <https://www.nvc.pref.fukuoka.lg.jp/>

